



[ハレとケのまち京都]  
地蔵盆

歴 2-19 (R03)

北向山十王堂とも称される七条えんま堂は、京都駅から梅小路公園や京都鉄道博物館を通り抜けた西大路七条にあります。

宝暦3年(1753)の「十王堂記」によると、寛永2年(1625)には、すでにこの地に七条えんま堂の前身となる十王堂が存在していたと記されています。

長年の間、地域の人々により守られてきましたが、昭和50年代に縁あって西京区正法寺の七条別院となりました。

西大路七条を東に入った通り沿いに建つ、木造入母屋造りのお堂は、通り側の妻面に開口部を設けており、入口の土間部では、立ち寄った参拝者が手を合わせる様子が今も見られます。

堂内の正面奥には、本尊として木造不動明王立像が祀られ、その左右に小ぶりの木造十王坐像十一軀を安置しています。これら十王像は、鎌倉時代から室町時代に作られた複数の十王像の残存像を集めた貴重な文化財ということが、近年の調査によって判明しました。

堂内では、数珠繰りや子ども向け茶道教室などの地域行事が開催され、毎年地蔵盆が行われるなど、住民の交流の場としても大切に活用されています。



堂内



地蔵盆



〒600-8877 京都市下京区西七条南西野町3

電話番号 075-331-0105 (正法寺)

アクセス 市バス「西大路七条」徒歩3分

ホームページ <https://kyoto-shoboji.com/enmado>